

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）

令和 8 年度

事業者番号	0042	事業所番号	004201
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	レンゴー株式会社 東京工場		
事業所所在地	市区町村	川口市	
	字・地番	領家五丁目14番8号	
産業分類名（中分類）	14 パルプ・紙・紙加工品製造業		
分類番号（中分類）	14		
事業活動の概要	事業内容	段ボール、段ボール箱の製造・販売	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	目標設定ガス（必須）	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を48%以上とする。				
	その他ガス					
目標設定ガスの削減目標の概要	排出可能上限量（計画期間合計）	4,551	t-CO ₂			
	削減目標量（計画期間合計）	4,202	t-CO ₂	事業所区分	第2区分	

(2) 第5計画期間の削減目標

計画期間		12	年度	～	16	年度
削減目標	目標設定ガス（必須）					
	その他ガス					

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間のエネルギー使用量の推移

	計画期間				
	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
原油換算エネルギー使用量(kL)	3,152				
規模判定エネルギー使用量(kL)	3,152				

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	計画期間				
	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
目標設定ガス	6,092				
前年度からの増減（％）	—				
その他の ガス	目標設定ガス以外のCO ₂				
	メタン				
	一酸化二窒素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六ふっ化硫黄				
	三ふっ化窒素				
温室効果ガスの合計	6,092				

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（目標設定ガス）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

	計画期間				
	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
目標設定ガス排出量原単位	0.0199				
前年度からの増減（％）	—				
活動規模の指標単					
生産量	千m ²	305,370.46			

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）

（４）目標設定ガス排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和7年度 (2025年度)	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	面積・用途・設備で「有」の場合その内容	工場棟の面積増を中心にリニューアル工事が進行した。				
	排出量増減の要因	・令和6年度に比べ、エネルギー起源CO ₂ 排出量は減少した。 原単位も減少した。				
令和8年度 (2026年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
	面積・用途・設備で「有」の場合その内容					
	排出量増減の要因					
令和9年度 (2027年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
	面積・用途・設備で「有」の場合その内容					
	排出量増減の要因					
令和10年度 (2028年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
	面積・用途・設備で「有」の場合その内容					
	排出量増減の要因					
令和11年度 (2029年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
	面積・用途・設備で「有」の場合その内容					
	排出量増減の要因					

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	8,753	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量（t-CO ₂ /年）
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

7	年度から	11	年度まで
---	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

（排出量等の単位：t-CO₂）

		令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	削減期間 合計
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	8,753					8,753
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	48.0%					
	排出上限量 ($C = \sum A \cdot D$)						4,551
	排出削減目標量 ($D = \sum (A \times B)$)						4,202
実 績	目標設定ガス排 出量(E)	6,092					6,092
	削減率 ($F = (A - E) / A$)	30.40%					—
	排出削減量 ($G = A - E$)	2,661					2,661
各年度の排出量の検証		未実施					

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 分 番 号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	320300	ボイラー、工業 炉、蒸気系統	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	ボイラ蒸気漏れの点検確認 ＜第4計画期間も継続＞	R1以前	R1以前	
2	330200	空調設備・換 気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	一部の空調機に人感センサーを設置、設定温度の管理＜第4計画期間も継続＞	R1以前	R1以前	
3	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明効率の良い照明の利用、不要な時間帯や不要な場所の消灯、一部人感センサーの導入	R1以前	R1以前	
4	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	自動販売機の照明の消灯 ＜第4計画期間も継続＞	R1以前	R1以前	
5	330200	空調設備・換 気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ブラインドの適正な利用、日射負荷の大きな窓面に遮熱フィルムを設置、風除室の適正な運用	R1以前	R1以前	
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不要時（休憩時間等）は消灯する。照明効率の良い照明に交換する。＜第4計画期間も継続＞	R1以前	R1以前	
7	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	事務用機器不要時は電源を切る。 ＜第3計画期間も継続＞	R1以前	R1以前	
8	400200	給湯設備	40_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	一部の設備の利用休止。（浴槽へのお湯張りを冬のみにし、シャワーのみの利用とする）	R1以前	R1以前	5.0
9	330200	空調設備・換 気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備の更新	R1以前	R1以前	
10	330200	空調設備・換 気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	倉庫内及び工場内照明のLED化	R1以前	R1以前	136.0
11	330200	空調設備・換 気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	工場外灯のLED化	R1以前	R1以前	6.0
12	330200	空調設備・換 気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	事務所棟のLED化	R1以前	R1以前	
13	370700	電動力応用設備、 電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	製造機械の更新（印刷機）	R2	R2	0.5
14	320300	ボイラー、工業 炉、蒸気系統	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	ダブルフェーサーの更新（止転削減効果）	R6		1.1
15	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	新倉庫棟ZEB認証取得（人感センサーによる照明の入切）	R5	R5	

※ 「業務部門」は11から18番台、「産業部門」は31から49番台から選択してください。

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（B,C事業所用）

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価
（※希望者のみ記載）

自由記述欄

--